

標準委員会 第31回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録

1. 日 時 2016年3月1日（火） 13：30～14：30
2. 場 所 5東洋海事ビル A+B 会議室
3. 出席者（敬称略）
 - （出席委員） 萩原（部会長），越塚（副部会長），吉田（幹事），石川，上野，北島，塚，坂本，佐々木，佐田，宿谷，田中，西田，沼田，日比，藤井、宮坂（17名）
 - （欠席委員） 伊藤、岡本，山口（3名）
 - （欠席常時参加者） 工藤（1名）
 - （事務局） 中越，谷井（2名）
4. 配付資料
 - ATC31-0 議事次第
 - ATC31-1 前回議事録（案）
 - ATC31-2 人事について
 - ATC31-3 “シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン 201X” 修正及び制定について
 - ATC31-4 「発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準」の5年毎の改定・廃止の要否の検討結果
 - ATC31-5 基盤応用・廃炉技術専門部会 標準策定スケジュール
 - ATC31-6 専門部会運営通則の見直し
 - ATC31-7 分科会の活動状況について
 - ATC31-8 用語集案(H27.12 中間報告)への標準委員会のコメントへの対応

参考資料

- ATC31-参考1 基盤・応用技術専門部会委員名簿
- ATC31-参考2 標準委員会の活動状況

5. 議事内容

事務局から開始時点で委員20名中，代理委員を含む17名の出席があり，委員会成立に必要な委員数（14名以上）を満足している旨，報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（ATC31-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事について（ATC31-2）

事務局からATC31-2に基づき，専門部会及び分科会の人事についてそれぞれ下記の提案があり，審議の結果，確認または再任、承認決議された。

1) 専門部会

① 委員の再任(決議)

石川智之（伊藤忠テクノソリューションズ）

2) 分科会

① 委員退任の確認

【シミュレーションの信頼性分科会】

吉田啓之（日本原子力研究開発機構）

【放射線遮蔽分科会】

森島 誠（三菱重工）

【廃止措置分科会】

北山 尚樹（日本原子力研究開発機構）

藤本 博之（三菱重工）

② 新委員の承認（決議）

【放射線遮蔽分科会】

小迫 和明（清水建設）

【シミュレーションの信頼性分科会】

鈴木史司（日本原子力研究開発機構）

【廃止措置分科会】

黒川 登（三菱重工）

(3) 【報告】 “シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン 201X” 修正及び制定について（ATC31-3）

シミュレーションの信頼性分科会の越塚副主査から ATC31-3 に基づいて、“シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン 201X” について、標準委員会で、修正案が承認されたこと及び修正内容で制定されたことについて報告があった。

(4) 【報告・審議】 「発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準」の5年毎の改定・廃止の要否の検討結果（ATC31-4）

風洞実験実施基準分科会 沼田幹事から ATC31-4 に基づいて、“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準”の5年毎の改定・廃止の要否の検討結果について報告があり、審議の結果、同標準の改定を行うことについて決議投票に移行することが決議された。

(5) 【報告・審議】 標準策定5カ年計画について（ATC31-5）

吉田幹事から ATC31-5 に基づいて、“基盤応用・廃炉技術専門部会 標準策定スケジュール”について報告があり、審議の結果、以下の質疑内容を反映した本スケジュール案を標準委員会で提案することが決議された。

質疑等は以下のとおり。

・廃止措置分科会の“原子炉施設の廃止措置の安全評価”について3月に講習会を予定している。

・放射線遮蔽分科会の“放射線遮へい計算のための線量換算係数：2010”の“5年毎改定時期”欄で“2015.6（改定不要）”と記載しているが、“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準”の5年毎の改定・廃止の要否についての検討結果への対応と同様に決議投票する必要があるため、記載内容を“改定検討中”に変える。

(6) 【審議】 “標準委員会 専門部会運営通則”改正について（ATC31-6）

事務局から ATC31-6 に基づいて、“専門部会運営通則の見直し”の説明があり、審議の結

果、“標準委員会 専門部会運営通則”改正案について30日間の投票に移行することが決議された。

質疑等は以下のとおり。

Q：“3. 部会の委員の代理者”で“委員はやむをえず部会を欠席する場合は議決権を有しない者を代理者として指名することができる。”と提案しているが、“議決権を有しない者を”を削除してはどうか。

A：拝承。

Q：フェロー委員は定足数にカウントされるのか。

A：カウントされる。

(7) 【審議】用語集案(H27.12中間報告)への標準委員会のコメントへの対応(ATC31-8)

追加議題として、吉田幹事からATC31-5に基づいて、“用語集案(H27.12中間報告)”への標準委員会のコメントへの対応案について説明があり、審議の結果、以下の質疑内容を反映した“用語集案(H27.12中間報告)への標準委員会のコメントへの対応”を標準活動基本戦略タスクへ提案することが決議された。

質疑等は以下のとおり。

Q：番号7“136 想定事故時”は表から削除してはどうか。

A：拝承。

Q：番号203“平常運転時”は表から削除してはどうか。

A：拝承。

(8)その他

(1)次回第32回基盤応用・廃炉技術専門部会は、5月23日(月)13:30から開催することになった。
以上